

平成28年12月28日

南海エフディサービス株式会社

**「年越しそば」の次は、これ食べよう！****南海そばで話題の「年明けうどん」を発売！****駅そば店で1年の初めの縁起もの。幸せへの願いを込めて食べてみよう！**

南海電鉄グループで駅ナカ飲食店を経営する南海エフディサービス株式会社(社長：玉田 光弘 所在地：大阪市浪速区)が経営する駅そば店「南海そば」では、紅白のめでたい彩りが正月らしさを感じさせる「年明けうどん」(460円・税込)を、1月1日(日)から15日(日)まで発売します。(※発売開始日は店舗により異なります)。

「年明けうどん」とは、「年明けうどん普及委員会」(所在地：香川県高松市)が提唱する、元旦から1月15日までに食べるうどんのことで、白いうどんに赤い具材を添えた紅白のめでたい彩りが特徴です。うどんは太くて長いことから長寿を祈る縁起物であり、年の初めに食べることでその年の人々の幸せを願うものとされ、年々認知が広がってきました。

南海そばの「年明けうどん」は、年明けうどんらしい紅の具材である紀州産“梅”と白の“餅”そして、黄色の“生卵”を彩りよくトッピングしたのが特徴で、「寿」と印字されたかまぼこととろろ昆布で新年の“よろこび”を表現しています。

ぜひ、南海そばの「年明けうどん」を食べて、縁起をかついでください。

詳細は別紙のとおりです。

**年明けうどん**
TOSHIAKE UDON

南海そばで発売する「年明けうどん」(460円・税込)

<別 紙>

1. 商品名および発売額

「年明けうどん」 460円（税込）

2. 内 容

年明けうどんらしい紅の具材である、紀州産“梅”と白の“餅”、そして黄色の“生卵”を彩りよくトッピングしたのが特徴で、「寿」と印字されたかまぼこと、とろろ昆布で新年の“よろこび”を表現しています。

3. 発売店舗および発売期間

「南海そば」

- ・なんば駅3F店（南海電鉄難波駅3F改札内） 1月1日（日）～15日（日）
- ・なんば駅2F店（南海電鉄難波駅2F改札内） 1月2日（月）～15日（日）
- ・新今宮店（南海電鉄新今宮駅構内） 1月2日（月）～15日（日）
- ・天王寺店（JR天王寺駅構内） 1月1日（日）～15日（日）
- ・和歌山店（南海電鉄和歌山市駅改札内） 1月4日（水）～15日（日）
- ・三国ヶ丘店（南海電鉄三国ヶ丘駅改札外） 1月4日（水）～15日（日）

※店舗により発売開始日が異なります。

以上